



きっずる一むだより

第 67 号
令和 8 年 6 月 10 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずる一む県庁別館



色とりどりのあじさいに、雨が降れば顔をのぞかせる虫たち。
傘をさすのが楽しい子、長靴を履くのが楽しい子、レインコートを着るのが楽しい子。
雨が降る日でも、こども達にとっては楽しい要素や発見がたくさんあるようです。
この時期ならではの自然に触れたり、
室内ならではの遊びを楽しんだりしながら過ごしていきます。



あじさいの秘密

6 月は色とりどりのあじさいの花が
綺麗に咲く季節です。
でもなぜあじさいの色が違うのでしょうか。
それは土壌の成分・開花からの日数などが影響すると
いわれています。
土壌の PH によって一般的に、
『酸性 = 青』『中性 = 紫』『アルカリ性 = 赤』
になるといわれています。
火山大国である日本は「酸性」の土壌が圧倒的に多い
ため、青色のあじさいが多いそうです。
あじさいは花の色が変化する珍しい花でもあります。
ご家庭でもお散歩をしながら、あじさいの色を観察し
てみるともっと素敵なお散歩になるかもしれません。

絵本紹介

今回保育者がおすすめする絵本は、
アンマサコ作「どすこいすしずもう」です。
色々な寿司のネタが相撲する物語になっています。迫力
がある絵でこども達も夢中になって。読むときには
呼出(力士の名前を呼ぶ人)や行司(“はっけよい”や“の
こった”という人)になりきって読むとさらに楽しめるか
もしれません。また、この絵本はたくさんシリーズがあり
それもまた面白いです。
機会があればお手に取ってみてください。

お知らせ

気温が上がりはじめました。そのため、お弁当に保冷剤
の準備をお願い致します。

こどもの様子



きっずる一むでは、雨の日は県庁館内の散歩を楽しみます。
A ちゃん(1 歳 7 カ月)は、館内のドアノブが気になるのか
「これ!」と言い散歩に行くとよく触っています。
B 君(1 歳 9 カ月)は、「お!」と大理石階段を指差し保育者の手を握って
のぼることを楽しんでます。



山梨県庁別館は、1930 年(昭和 5 年)建てられ
1945 年(昭和 20 年)7 月 7 日の甲府空襲で罹災地域にありながら甲府城址に守られて被害を免れ、
かつ増築・改修はされていますがほぼ原形を保っている建築物です。
2009 年(平成 21 年)に山梨県の有形文化財になりました。
このような歴史ある建物にきっずる一むはあり、こども達と楽しく過ごしています。